

<2023 年度事業報告>

<事業の結果>

(1)公益目的事業1「緑の安全管理士関係事業」

① 緑の安全管理士(ゴルフ場・緑地分野)の第45回資格認定研修会(11/8~10、エッサム神田ホール2号館/東京・千代田区内神田)を開催し、76名が受講(前年71名)して、76名全員が認定試験に合格(前年68名)。第1回認定審査会(11/21)にて(一社)日本植物防疫協会の植物防疫研修会修了者(農耕地分野)48名と合わせて124名を管理士に認定した。

また、第2回認定審査会(3/8)を開催し、植物防疫研修会修了者45名を農耕地分野の管理士に認定した。(2023年度計169名)

② 資格更新研修会(2024/1/5~2/29)は、引き続き感染症対策及び効率化のため、当協会HPの緑の安全管理士専用サイトの研修動画5件を視聴して視聴確認書等を提出する方式とした。更新対象の管理士584名のうち391名が受講し、受講率は67%(前年66%)にアップした。研修動画は更新年次以外の管理士にも視聴を促し、専門知識のレベルアップをはかった。

なお、更新年次の受講者(有償)には動画スライドの印刷物を提供した。また、「緑の安全管理士の手引き」を改訂した。

<<研修テーマ>>

- ✓ 農薬をめぐる最近の動向……農林水産省農薬対策室
- ✓ 農薬の環境影響に係るリスクの評価と管理……環境省農薬環境管理室
- ✓ 農薬の登録状況を巡る最近の話題(農薬の使用時安全性評価)……FAMIC 農薬検査部
- ✓ 「農薬のはてな？」に答えます……(公社)緑の安全推進協会
- ✓ 事務局報告(緑の安全管理士スキルアップ勉強会の案内、緑の安全管理士会のロゴマーク募集の案内、事務局からのご願い)……事務局長、事業推進室長

③ ここ数年新型コロナウイルス感染症対策のため中止してきた支部大会兼資格更新研修会の現地開催につき、緑の安全管理士のスキルアップに向けた研修(講演会)と管理士同士の情報交換の場となる部分を再開した。

その1回目の試行として、名称を「緑の安全管理士スキルアップ勉強会(関東甲信越支部版)」を2024年1月24日に開催し、49名が参加した。

<講演テーマ>

ドローンでの農薬使用における遵守事項と関係法規制等……委嘱講師 赤山 敦夫 氏

農薬の選択毒性と作用機構・RAC(ラック)コード……吉備国際大客員教授 梅津 憲治 氏

④ 「緑の安全管理士」への情報提供として、「みどりのたより」を3回(4/28、7/28、1/31)発行し、HPの管理士サイトにPDF版を掲載してNewsメールで周知するとともに、特に希望する管理士には冊子を郵送した。また、最新の登録情報、発生予察情報及びその他周

知情報をメールマガジンで周知した(53回、前年45回)。

- ⑤ 2023年度末の緑の安全管理士数は、2851名で前年同期(2,962名)から111名減となった。

(2)公益目的事業2「講師派遣事業」「電話相談事業」「リーフレット等配布事業」/(クロップライフジャパンとの協働事業)

- ① 講師派遣は新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、180件以上の目標に対し、農業団体、生産組合、都道府県等が主催する研修会等で前年度を47件上回る211件となった。また、講演会への参加者総数は、15,279名(前年度10,139名)であった。委嘱講師の研修会は新人向けの教育研修を追加して都合4回実施(7/25、9/15、10/24、3/13)し、ドローン対応等の知識の向上をはかった。

- ② 電話相談件数は231件(前年度末243件)となった。相談者の内訳は、使用者127(同130、以下同じ)、一般市民等58(79)、指導者28(21)、販売者18(13)の順で、使用者からの相談が多かった。

相談内容は、農薬使用法150(154)、健康・安全性75(87)、苦情1(2)、要望提案5(0)であった。農薬メーカーのお客さま相談窓口担当者を対象とした研修会を2回(11/23、3/15)実施し、累計61名が参加して相談対応スキルの向上をはかった。

- ③ リーフレットの配布は325か所、194,043部(前年度末228か所、121,049部)であった。

新規リーフレットとして「総合防除・IPMはこれからの農業のキーワード」及び「ドローン散布安全チェックブック」を作成。また、必要なリーフレット5種類の改訂と増刷に対応した。

(3)公益目的事業3「出版事業」「出荷統計」

- ① グリーン農薬総覧2023総合版の頒布、グリーン農薬総覧2024追補版の発刊・頒布開始

2023総合版は実費での有償頒布を継続し、残り129部となった。また、2023総合版以降直近1年間の農薬登録の追加・変更などをまとめたグリーン農薬総覧追補2024を3月に発刊し、338部を頒布・納本(有償138、無償200)した。

別途pdf版も作成しており、冊子購入者のうち希望者へ提供した。

- ② 2023年度緑地・ゴルフ場分野の農薬出荷実績

緑地・ゴルフ場分野での農薬出荷実績につき、会員29社の協力を得てとりまとめ結果を公表した(2/1)。総出荷数量が7,503ton・klとなり、対前年94.1%(423ton・kl減)、金額は30,469百万円で、対前年105.9%であった(1,705百万円増)であった。

種別では、殺虫剤は数量5.1%減(金額0.9%増)、殺菌剤は数量0.9%減(金額3.7%増)、除草剤は数量6.4%減(金額7.4%増)、植物成長調整剤は数量7.2%増(金額15.6%増)。また、その他(忌避剤、殺藻剤等)は数量3.5%減(金額5.5%増)となった。

用途別でみると、芝は数量2.7%減(金額7.4%増)、樹木は数量9.1%増(金額0.8%減)、緑地では数量7.6%減(金額5.0%増)となった。

<事業の経過>

(4)会議等の開催

① 第1回理事会(全農薬ビル9F 会議室・Web 参加)

日時:2023年5月24日(水)10時25分~11時25分

場所:全農薬ビル9F 会議室

- ・2022年度事業報告及び収支決算承認の件
 - ・第34回通常総会の日時および場所並びに議事に付すべき事項、等の承認の件
 - ・役員任期満了に伴う理事・監事候補推薦の件
 - ・その他 1) 賛助会員入会申請者の承認の件 2) 委員会等の委員交代の件
- 3) 事務局規程類の一部改定の件
- ・会長、専務理事の職務執行状況報告

② 第34回通常総会

日時:2023年6月20日(火)10時30分~11時15分

場所:エッサム神田ホール2号館 601 会議室

106名出席(本人出席16名、委任状による出席43名、議決権行使書47名)

- ・2022年度事業報告及び収支決算承認の件
- ・役員選任の件
- ・その他 2023年度事業計画及び収支予算の報告

③ 臨時理事会(第1回)

日時:2023年6月20日(火)11時15分~11時25分

場所:エッサム神田ホール2号館 601 会議室

- ・2023年度役付理事選定の件
- ・2023年度役員報酬額取り決めの件

④ 電磁的記録(メール)による理事会承認(みなし決議)

期間:2023年7月10日(月)~7月11日(火)

- ・運営委員会委員交代の件

⑤ 臨時理事会(第2回)

日時:2023年12月14日(木)10時35分~11時10分

場所:エッサム神田ホール1号館 6階 会議室602号

- ・2023年度第3四半期の実績の件
- ・全農薬ビルの建替えに伴う退去期限通告への対応の件
- ・規程類の改定について

⑥ 電磁的記録(メール)による理事会承認(みなし決議)

期間:2024年3月2日(土)~3月4日(月)

- ・運営委員会委員、環境安全対策委員会委員等交代の件

⑦ 第2回理事会

日時:2024年3月19日(火)10時30分~

場所:エッサム神田ホール1号館 9階 会議室 902 会議室

- ・2023 年度事業及び収支決算(案)報告の件
- ・2024 年度事業及び収支予算承認の件
- ・2024 年度借入金の借入最高限度額承認の件
- ・2024 年度役員報酬の上限承認の件
- ・主たる事務所の移転先と移転登記時期の件、その他報告事項
- ・会長、専務理事の職務執行状況報告

⑧ 監査

日時:2023 年 4 月 21 日(金)

場所:全農薬ビル 5 階当協会事務所

- ・2022 年度事業報告、収支決算等に関し監事 2 名で監査し、適正との「監査報告書」を受領。

⑨ 委員会、専門部会、等

- ・運営委員会(前年 4 回)

第 1 回:5/11 全農薬ビル 9F 会議室

2022 年度事業報告及び収支決算承認の件

第 34 回通常総会の日時および場所並びに議事に付すべき事項、等の承認の件

第 2 回:7/21 全農薬ビル 9F 会議室

運営委員会一部メンバー交代、2023 年度第 1 四半期の活動状況、農薬の再評価制度対応、農薬製品ラベルの樹木類/樹木等の使い分け徹底、緑の安全管理士 F2F の意見交換・研修機会の設定、など

第 3 回:12/6 全農薬ビル9F 会議室及び Web 会議併設。

2023 年度第 3 四半期の活動状況、内閣府からの利益相償に向けた指導への対応、全農薬ビルの建替えに伴う退去期限通告への対応、農薬製品ラベルの樹木類/樹木等の使い分け徹底、規程類の改定、等。

第 4 回:3/8 全農薬ビル9F 会議室

第 2 回理事会付議事項(2023年度事業報告及び収支決算(見込)、2024 年度事業計画・収支予 算、2024 年借入金限度額、役員報酬の上限、会員の入会及び脱会、委員会等の委員交代、等)、30 周年記念誌、等。

- ・技術研修委員会(7/7)

2023 年度資格認定研修会開催時期の変更、資格更新研修テーマ、従前の支部大会の様式のうち管理士間の情報交換ができる機会に重点を置いた勉強会の施方針、等を承認。

- ・環境安全対策委員会(7/6, 3/25)

委員長選任。2023 年度活動計画。専門部会報告、課題の整理。一般家庭から出る残農薬・空容器の問題につき情報共有と樹木類と樹木等の違いの周知に関する取扱いを承認。2023 年度の専門部会活動報告を承認。

- ・環境安全対策委員会 ゴルフ場専門部会(5/8)

部会長選任。2023 年度活動計画。ゴルフ場排水指針値超過事例(水産指針)、排水調査でのガイドライン逸脱事例(調整池で採水実施など)を確認し情報共有。樹木類と樹木等の違いの周知に関する取扱いを承認。芝向けの RAC コード表と農薬の正しい使い方の啓発チラシを作成し、前年度に農薬使用計画を届け出たゴルフ場宛に DM を送付。

・環境安全対策委員会 家庭園芸剤専門部会(5/22、3/25)

部会長選任。2023 年度活動計画。(公社)家庭園芸普及協会との連携による広報活動として、一般家庭向け残農薬や空容器の処理のチラシを作成し、DM 用に同協会に提供した(3/10)。空容器、残農薬の処分について、外部(株式会社 日広通信)に自治体の HP 上コンテンツの調査を依頼し、結果を入手して解析した。

・農耕地専門部会(6/1)

部会長を選任。問い合わせ対応の Q&A 取りまとめ等のテーマを検討した。

・「緑の安全管理士」認定審査会(11/21、3/8)

当会主催の認定研修会修了試験合格者及び(一社)日本植物防疫協会主催の植物防疫研修会修了者のうち認定を希望する方々から管理士都合 169 名を認定した。

・緑の安全管理士会役員会(6/23、2/21)

緑の安全管理士の活動強化、支部運営状況や課題等を協議した。スキルアップ勉強会については、名称とその開催を決定し、メール会議も行って企画した。

また、能登半島地震被災地域を自宅住所とする資格更新研修受講者が存在することから受講が困難な管理士には救済措置をとり暫定的に資格延長を認めることとした。そのほか、管理士会役員の選定について管理士規約(内規)を定めた。

(5) その他

・会員通信の発行

会員通信を 3 回(4/18、7/13、12/25) 発行し、News メール等で配信した。

・会員への規制当局等からの情報周知

農林水産省等からの当局情報(23 件)を含め、News メールを 28 件配信した。

・2024 年度事業計画及び収支予算を内閣府への報告した(3/26)。

・会員の入会及び退会の状況について

<<(公社)緑の安全推進協会会員の動向>>

	正会員	賛助会員	計
2022 年度末(2023.3.31)	137	1	138
入 会	0	1	1
退 会	0	0	0
2023 年度末(2024.3.31)	137	2	139

入会(承認日) 中日本高速道路株式会社 東京支社 (2023 年 5 月 24 日)

退会(届出日) なし

<<(公社)緑の安全推進協会役員>>

2024年3月末現在

役職	氏名	所属会社・団体
会長	根岸 寛光	(公社)緑の安全推進協会
副会長	小林 由幸	(株)ロイヤルグリーンメンテナンス 代表取締役社長
//	小澤 敏	JCPA 農薬工業会会長(三井化学クロップ&ライフソリューション(株) 代表取締役社長執行役員 CEO)
専務理事	白岩 豊	(公社)緑の安全推進協会
理事	秋森 吉樹	全国農業協同組合連合会 耕種資材部次長兼農薬原体・開発課課長事務取扱
//	足立 純一	シンジェンタジャパン(株)執行役員プロフェッショナルソリューション事業本部長
//	井ノ下 順二郎	日本農薬(株) 上席執行役員 国内営業本部長
//	梅田 公利	住友化学園芸(株) 代表取締役社長
//	大森 茂	全国農薬協同組合 理事長(山陽薬品(株)代表取締役会長)
//	河西 康弘	住友化学(株) マーケティング部長
//	篠原 卓朗	(株)理研グリーン 代表取締役社長
//	永井 統尋	(株)ニチノー緑化 代表取締役社長
監事	鈴木 望文	小西安農業資材(株) 常務取締役営業本部長
//	松浦 克浩	JCPA 農薬工業会 専務理事